



昭和27年1月11日  
第三種郵便物認可第770号  
令和元年11月25日発行  
(毎月25日発行)

# 福祉だより 信州

No.  
**770**  
2019 11・12月号

よっ! 新風人



## CONTENTS

- みんなで取り組む地域共生・信州 2
- 福祉保険サービス広告 5
- 県社協情報局 6
- おらほの縁パワー活動!・おらほの資金確保術! 7
- よっ!新風人・ざわめくアート 8



ふっころ  
長野県社会福祉協議会  
公益キャラクター



# “ONE NAGANO”で復興へ

## ～台風第19号災害における支援状況～



### 6万人を超えるボランティアが NAGANOに



台風第19号災害により  
被災された皆様に  
心からお見舞いを申し上げます。

10月の発災以来、県内11の市町村で地元社会福祉協議会が中心となって災害ボランティアセンターを設置し、現在までに6万人を超えるボランティアが被災地を支援してきました。

長野県社会福祉協議会では、これらのセンター運営の支援や、災福ネット（長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会）による避難所支援、そして被災者を継続的に見守りつづける「地域ささえあいセンター」の体制整備などに全力で取り組んで参りました。

この間の支援状況について報告します。

【写真提供：災害NGO結】

### 災害ボランティアセンター （災害VC）の運営支援

災害VCは被災者のニーズと、ボランティアの力をマッチングする、災害ボランティア活動の拠点です。

県内外から6万人を超えるボランティアが駆けつけ、家屋の泥だしや家財の片づけを中心に、被災者に寄り添った支援活動に活躍しています。

県内の社会福祉協議会は、災害VCの運営に備え、訓練やDSAT（県内社協災害初動時先遣チーム）の養成に取り組んできました。

甚大な被害の中でも、これらの備えを活かして、素早い受援体制を整えることができたと考えています。

### 支援のための 多機関連携と協働

各市町村災害VCの運営支援のため、社会福祉協議会のネットワークを始めとして、支援P（災害ボランティア支援プロジェクト会議）、災害NPO、企業、学校等様々な機関・団体と連携・協働を行っています。

現地での人的支援から、物資の提供、情報発信支援、運営に対するスーパーバイズなどそれぞれの得意分野を活かし



軽トラボランティアが大活躍



水につかった家財の清掃に女性や高齢者も活躍



泥出しを行う学生ボランティア

た支援に心から感謝いたします。

また、応援側のNPOなどの調整を行う長野県災害時支援ネットワークとも密な連携を図っています。



# 台風第19号災害 長野県内のボランティア活動者数

◆災害ボランティアセンターの開設期間、開設期間中のボランティア活動者数(県社協まとめ、11月30日時点) ◆人的被害、住宅被害総数(長野県災害対策本部資料から、11月29日時点)

**ボランティア**  
**総人数**  
**61,812人**

**住宅被害総数**  
**8,551世帯**

**死者**  
**5人**

**中野市**  
**735人**  
 災害VC  
 10月14日～10月30日  
 床上浸水 **78** 床下浸水 **45**

**飯山市**  
**1,253人**  
 災害VC  
 10月14日～10月27日  
 床上浸水 **209** 床下浸水 **421**

**栄村**  
**16人**  
 災害VC  
 10月14日～10月15日  
 床上浸水 **2** 床下浸水 **2**

**須坂市**  
**2,084人**  
 災害VC  
 10月15日～11月4日  
 床上浸水 **247** 床下浸水 **102**

**小布施町**  
**641人**  
 災害VC  
 10月16日～10月28日  
 床上浸水 **35** 床下浸水 **23**

**長野市**  
**53,528人**  
 災害VC  
 10月14日～活動継続中  
 床上浸水 **2,289** 床下浸水 **1,573**

**千曲市**  
**1,193人**  
 災害VC  
 10月15日～11月8日  
 床上浸水 **433** 床下浸水 **1,202**

**上田市**  
**295人**  
 災害VC  
 10月14日～10月31日  
 床上浸水 **25** 床下浸水 **96**

**立科町**  
**79人**  
 災害VC  
 10月13日～10月23日  
 床上浸水 **3** 床下浸水 **29**

**佐久市**  
**1,264人**  
 災害VC  
 10月14日～11月8日  
 床上浸水 **154** 床下浸水 **858**

**南佐久郡・佐久穂町**  
**724人**  
 災害VC  
 10月15日～11月10日  
 床上浸水 **62** 床下浸水 **93**



**「災福ネット(長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会)の活動**

今年2月に発足した災福ネットは、長野市の要請を受けて、避難所に「長野県ふくしチーム」を派遣するなど、福祉専門職による被災者支援に取り組みました。

また被災のため休業している福祉事業所のメンバーを活かした地域貢献活動の支援など新たな取り組みも応援しています。

**「ONE NAGANO」の息の長い支援を**

11月中旬には、農地の再生を目指して、農協を主体とした「農ポラプロジェクト」がスタート。農ボラや農福連携による地域の復興にも取り組んでいます。また、被災者を継続して見守っていく「地域ささえあいセンター」は、長野市などの被災市町村で設置を準備しています。本会でも、「長野県生活支援・地域ささえあいセンター」を長野県から受託し、引き続き生活復興の支援に取り組み予定です。

今回の支援活動から生まれた「ONE NAGANO」は、私たちの目指す地域共生社会の実現にも通じるスローガンです。これからも息の長い支援活動をみんなで続けていきたいと思います。



# 長野県社協災害福祉支援本部活動状況

長野県社会福祉協議会では、10月13日、長野県社協災害福祉支援本部を上げ、長野県や関係団体と協働しながら、次の4項目を重点に、災害福祉支援活動を実施してきました。

- 1 市町村災害ボランティアセンター（災害VC）の支援
- 2 災害福祉広域支援ネットワーク協議会活動の運営
- 3 生活復興支援、地域ささえあいセンターの体制づくり
- 4 NPO、企業等との災害支援ネットワーク活動

## 1 被災地の災害VCの運営を全力で支えています。（災害VC運営支援者の派遣）

- DSAT（県内社協災害初動時先遣チーム）の派遣 のべ110人
- 県内市町村社協職員の応援派遣 のべ1,443人
- 県社協職員の派遣 のべ535人
- 関東ブロック社協職員の応援派遣 のべ329人
- 北陸ブロック社協職員の応援派遣 のべ168人
- 全社協・災害支援プロジェクト会議 のべ72人  
(11月30日現在)

## 2 災福ネットを基盤として、長野県ふくしチームによる避難所支援や被災事業所の支援に取り組みました。

- 長野県ふくしチームによる避難所支援  
・のべ派遣人数 422人（59日間）
- 被災社会福祉法人への支援  
・社会福祉法人賛育会ほか
- 農福片付けプロジェクト  
・長野市長沼地区の災害ごみ運搬業務を就労支援事業所で受託、取り組み中。



長野市内の避難所で活動する、長野県・群馬県のふくしチーム(DWAT)



長野市長沼地区のリンゴ畑で活動する農福片付け隊

## 3 生活復興支援／地域ささえあいセンターの体制づくりを推進、12月から活動が始まります。

住宅再建や地域の復興に向けた長い道のりを見据えて、被災者の見守りや相談支援体制の構築に向けて、「地域ささえあいセンター」体制構築会議を開催するなど、被災市町村の相談支援体制づくりを支援しています。



「地域ささえあいセンター」体制構築会議（11月14日、長野市内）

## 4 NPO・企業とのネットワークを活かして、農ボラプロジェクトなど復興のまちづくりを応援しています。

- NPOセンター、農協、生協を主体とした農ボラプロジェクト（信州農業再生復興ボランティアプロジェクト）の立上げ・運営支援。
- 被災した地域公民館や集会所の仮復旧を支援し、在宅避難者のための情報発信やサロン活動を応援しています。



リンゴの木を救うため、周囲1メートルの土砂を撤去



「まちの縁側 めくめく亭」  
長野市豊野地区

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

## 保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

## 年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

## 保険金をお支払いする主な例



## ボランティア行幸用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK18-13568 2019.1.16作成)

平成31年度

社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

## 事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 **施設業務の補償** (賠償責任保険、動産総合保険)

### 1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度 死亡時100万円 入院時15~7万円 通院時1~3.5万円
傷害見舞費用			

保険期間1年

▶年額保険料(掛金)		定員	基本補償(A型)
補基本 償本 (A型)	付見舞費用 (B型)	1~50名	35,000~61,460円
		51~100名	68,270~97,000円
		100名以降1名~10名増ごと	1,500円
		基本補償(A型) 保険料	[見舞費用加算] 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



スケールメリットを活かした  
充実した補償と  
割安な保険料  
です。

プラン2 **施設利用者の補償**

プラン3 **施設職員の補償** (改定)

プラン4 **社会福祉法人役員等の補償**

◆クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) (改定)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。 ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJK18-12811 2018.12.28作成)



第68回長野県社会福祉大会から

# 「信州共生みらいアイデアコンテスト2019」 表彰式!!

県と県社協では、福祉・介護分野のイノベーションを進めていくことを目的に、工学やデザイン等の様々な分野で学ぶ学生の皆様から、各専門分野の知識を活かして福祉・介護の課題を解決する「第1回信州共生みらいアイデアコンテスト」を開催しました。応募20チームの中から一次審査を通過し審査会によって選ばれた、5チームの表彰式とプレゼンテーションが行われました。



長野県教育委員会賞



**介護職の為にゆっくりフター**  
駒工 Z (駒ヶ根工業高等学校)



長野県社会福祉協議会  
会長賞



**とろみの付き具合が測定できるアイデア**  
とろチャレ (信州大学教育学部)



長野県社会福祉法人  
経営者協議会会長賞



**ショートステイ時の  
荷物チェックの改善案**  
井澤 詩萌  
(岡学園トータルデザインアカデミー)



長野県在宅福祉機器  
協議会 会長賞



**食事介助用のエプロンデザイン**  
山崎 隆道 (岡学園トータルデザインアカデミー)



福祉を考える企業の会  
会長賞



**誰にとっても楽しく遊べる  
ユニバーサルカラーすごろくの提案**  
青木 くるみ (岡学園トータルデザインアカデミー)

作品の詳細は長野県社協のホームページからご覧いただけます。



長野県社会福祉  
協議会  
ホームページ

## プレゼンテーション審査会の様子 (令和元年9月5日(木) 県立長野図書館3階「信州・学び創造ラボ」)



(左) 駒ヶ根工業高等学校「駒工 Z」のプレゼン  
(中) 信州大学教育学部「とろチャレ」のプレゼン  
(上) 真剣に聞き入る審査員のみなさん



# 立科町 まちの茶の間「ただいま」

～人と家がつくるあたたかな居場所～

立科町のとある民家に今日も「ただいま」と声が聞こえてきます。ここは「まちの茶の間「ただいま」」誰かと心行くまでおしゃべりをしたい町の人々、おじいちゃんやおばあちゃんのお話を聴きたい子どもたちが集う居場所となっています。

“ただいま”は2018年12月に開所しました。もともと開所以前は地域の民家で、家主さんは施設で生活を送っていました。

ある日、立科町社協主催のサロン活動に参加した家主さんが「家で暮らしたい」と思いをこぼしました。その思いを汲み、地域のボランティアさんや社協職員、家主さんと話し合い、家での生活はなかなか難しいけれど、時々人とお話ができる場所にしてはどうかと意見がまとまりました。こうしてみんなが集える居場所をつくりたいという思いから“ただいま”が出来上がりました。

家でサロンができるよう地域のボランティアさんが手すりを設置し、家主さんもサロンに参加する際に自宅に帰れるようになりました。

立科町にはもともと農家を営んでいた家庭が多く、“ただいま”ではそんな人たちの腕を活かし、味噌づくりや、野菜作り、育てた野菜で料理をするなど、昔ながらの生活のようなサロン活動を通して人々が交流をしています。

サロンの参加者さんは「ここへ来れば、誰かと楽しくおしゃべりができて生き甲斐になっています」と話します。今は社協のサロン活動での活用が主になっていますが、ゆくゆくはより地域の人々が気軽に集まれる居場所になっていく事が期待されています。

家で暮らしたいという家主さんの思い、おしゃべりをしたいという町の人々の思い、そして、そんな人々が集まれる居場所をつくりたいという思いに共感した地域のボランティアさん、様々な思いが一軒の家に集まって、あたたかな居場所をつくっています。



## 赤い羽根共同募金

—被災地支援は皆さまの募金に支えられています—



災害ボランティアセンター(長野市)

### 皆さまの募金が被災地の復興のために!

毎年皆様からお預かりした共同募金の総額の3%を大規模災害があった時のために「災害等準備金」として積み立てています。災害発生に伴いボランティア等による支援活動が行われた場合に、これを資金として災害ボランティア等を支援しています。

### ～台風第19号における被災者支援では～

長野県内では、43市町村に災害救助法が適用され、災害ボランティアセンターが開設されました。全国からボランティアがかけつけ、災害ボランティアセンターを拠点として、一般家屋の泥出しや家財の搬出を中心とした活動が今も行われています。

災害ボランティアセンターの運営には、スコップ等の備品やボランティアの移動用バス、事務機器等の費用が生じます。長野県共同募金会では、「災害等準備金」により、災害ボランティアセンターの運営を支えています。

たくさん

### 赤い羽根はこれからも小さなことをしていきます。

被災地支援の他にも、皆さんの地域での防災備品の整備、福祉施設の整備、高齢者や障がい者のサロン等、たくさんの小さな活動を支援しています。これからも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

インターネットからも募金が可能です!!

募金していただくと税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは本会のホームページをご覧ください。



長野県共同募金会  
ホームページ  
<https://www.akaihane-nagano.or.jp/>



# よっ! 新風人

毎号福祉の現場に新しい  
風を吹き込むスタッフをご紹介します。

社会福祉法人 長野市社会福祉協議会  
長野市ボランティアセンター  
ボランティアコーディネーター  
武井未緒さん



webでも  
ご覧になれます

〈普段のお仕事は?〉  
講座の開催や助成金申請、ボランティア相談に乗りマッチングしています。業務がきっかけ

〈とても活躍されていますね!〉  
昨年、広島県呉市で災害ボランティアを経験しましたが、自分の町で災害ボランティアセンターを立ち上げ、その担当になるとはまさかのことでした。「一番難しいのは、現地のニーズに対してのボランティアさんの受け入れ人数の調整とサテライトとの連携です。毎日想定外の事態に直面して、臨機応変に対応する力を試される日々が続く、その忙しさがやりがいになってきました(笑)。上手く行かないことも多々ありましたが、ボランティアさんが三千人を超えた日を境に、受け入れ体制に少し余裕がでてきました。最近では、現地に足を運び状況を把握して、より現地の希望に添える調整を心掛けています。

県内各地に甚大な被害をもたらした台風19号。被災地の復旧・復興を応援したいと全国各地から集まるボランティアの受け入れや被災者のニーズ把握など、長野市北部災害ボランティアセンターの設置当初から運営に携わり活躍している武井未緒さんにお話をしました。



多くの人と出会い、みなさんと作っていくボランティアセンターです。



ボランティアさんからの心温まる応援メッセージに元気をもらいます。



人と人をつなぎ、新たな力を生み出す調整役として活躍しています。



長野市北部災害ボランティアセンターの山崎チーフ(県社協)と。

発災後、時間の経過に伴う被災者ニーズや状況の変化に対応しながら、その先にある地域福祉を見据えながら支援に取り組む武井さん。今後の活躍にも期待します!

〈被災地の復旧・復興に向けて〉  
各地から駆けつけ、力を貸してくださいとボランティアさんには大感謝です。そして今後も地域の人や資源を巻き込みながら継続して活動していくことが大切です。復旧復興に向かうなかで、この地を離れる方もいると思いますが、思入れのあるこの地に戻ってこられるようなお手伝いをして、今まで通り、それ以上に居心地よく過ごせる地域コミュニティづくりにつながる復興支援をしていきます。

で、山登りが趣味になり9月には八ヶ岳に登りました。ボランティア活動の支援者というよりも、共に歩む「伴行者」として皆さんと一緒に活動していきたいです。

●ご感想、お問合せ、  
掲載希望等は下記へ  
お寄せください。

長野県社会福祉協議会  
総務企画部 企画グループ  
TEL 026-228-4244  
FAX 026-228-0130  
E-mail kikaku@nsyakyo.or.jp

webでもご覧になれます

長野県社会福祉協議会 福祉・介護べり帖



長野県福祉研修  
実施団体  
きやりあねっと

信州福祉・  
介護のひろば



## ざわめくアート

『無題』 水彩絵の具

作者:竹村 侑夏 (たけむら ゆうか) 18歳  
駒ヶ根市在住

『この方は絵を描かない(描けない?)』と言われていた竹村さんは ある福祉事業所のアトリエに通い始めて、そこのアートサポーターさんから『好きに色を塗ってごらんよ』と言われ、好きな色の絵の具を要求し、絵の具をたっぷり筆に含ませて画用紙に塗り始めた。そして違う色の絵の具をまた塗ってみる。色と色が交じり合い、それがじわっとにじんていく。その色の動きを楽しんでいるかのようだ。『あれ?描けるじゃん!』 つまりそれまでは、絵は何か形を描き表わすものだ、と支援者は勝手に思い込んでおり、このような表現は絵であるとは認めていなかったようだ。こんな美しい色の世界も立派な絵である。

(ながのアートミーティング 取材)